国際交流だより 増刊号

☆歓迎☆～！！

H27年度協定留学生

東亜大学校　朴　恵源（韓国）
日本文学文化学科３年編入

　初めましてこんにちは。私は今年から一年間武蔵野大学で協定生として勉強することになったPARK HYEWONと申します。韓国のプサンにある東亜大学から参りました。今年３年生で専攻は日本文学文化学科です。
　韓国の大学では国際学部日本学科なので日本の文学よりは主に日本の経済政治などを学びますが、せっかく武蔵野大学に来たので韓国ではなかなか学べられない日本の文学を学んでみたいと思いました。今大学の３年生ですが大学の途中に４年間学校を休学してたため武蔵野大学では結構おばあさんの方だと思います。日本は今年で４年目に入ります。大学を休学して日本やオーストラリアなどに行ってました。もう日本で３年が過ぎましたけど日本の生活は楽しい限りです。
　趣味は音楽を聞くとか歌を歌うのと旅行です。今年は海外旅行に行くつもりです。あまりアウトドア運動などは好きじゃないですので身体能力が低いです。最後にこの一年本当にあっという間に過ぎちゃうと思いますけど勉強もしながら日本の大学生活を満喫して帰りたいと思います。よろしくお願いします。

一番右

新入協定生来日後のスケジュール

１．3月31日　来日
２．4月 2日　協定生ガイダンス参加
３．4月 4日　入学式・協定生認定式に参加
４．4月 7日　留学生ガイダンス参加
５．4月21日　茶話会に参加
６．5月 9日　サポーターとBBQに参加
７．5月21日　課外研修（防災体験・国会議事堂参観）

発行
武　蔵　野　大　学　　国　際　課
TEL:03-5530-7418
Email：kokusai@musashino-u.ac.jp

天津外国語大学　曹　蓉（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科３年編入

　こんにちは、曹蓉と申します。天津外国語大学の三年生です。今年協定生として武蔵野大学のグローバルコミュニケーション学部で一年間留学しています。
　出身地は中国安徽省の当塗県です。安徽省と言いますと、すぐ黄山が心に浮かびますでしょう。黄山は中国の名勝の一つとして非常に有名です。また、中国盛唐の詩人李白の墓も私の故郷にあります。毎年の清明節、多くの観光客が集まり、墓参りをします。それゆえ、観光地として私の故郷の安徽省をお勧めします。
　高校の時代、私は日本のアニメが好きになります。内容は面白いし画面も美しいです。
　それをきっかけとして、大学に入学後日本語専門を選びました。今まで、数多くのアニメを見たことがあります。例えば名探偵コナン、夏目友人帳、進撃の巨人などです。一番好きなのは宮崎駿の作品です。彼の作品を見た後、一番印象に残っていますのは千と千尋の神隠しです。この映画は日本のみならず世界にも非常に人気があります。アニメ以外に、水泳と美味な料理も好きです。
　私は性格が明るい人間で武蔵野大学での一年間にできるだけ多くの友達を作りたいです。どうぞよろしくお願いします。

右から2番目

一番右

東亜大学校　キム・ソンキョン（韓国）
政治経済学科３年編入

私は小さいときに東方神起というアーティストが好きでした。そして、その歌手が日本で活動を始めると聞き、日本で活動してる時の番組などを全て見ていました。それをきっかけに私は高校のときに日本の入試を準備していました。しかし、両親の反対があり、結局日本に来る夢は叶いませんでした。しかし、私は日本にどうしても行きたかったので、大学に入ってからも日本に行けなかったことを後悔する日々を送っていました。その中で、私は自分の大学にある協定留学制度というものを知り、その時まで日本に行けなかったことをとても後悔していた私にとって、それはこれまでにない絶好のチャンスでした。高校の卒業の時に諦めざるを得なかった日本留学の機会が私にくるとは、まさに夢のようでした。ただ、アーティストが好きで興味をもった日本という国に１年間文化を体験しながら勉強することは、人生においての宝物になると思います。

大連外国語大学　田　源　（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科２年編入

日本に来たのは初めてです。今までに日本にもう二週間いました。いろいろなことも体験しました。日本が素晴らしいところはたくさんあると思っています。

私が会った日本の人々はみんな優しくて親切でした。分からないことがあったら学校の先生たちと先輩たちはいつも笑顔で助けてくださいました。この間、友達と新宿に行きました。道に迷ってしまって迷っている時、男の人が私たちに話しかけて助けてくれました。そしていつも印象深いのはコンビにや店の店員たちのお客たちに対する態度です。いつも笑顔で仕事して優しいです。雨の日に買い物した後店員は商品のある袋をポリ袋で被せてくれました。これは自分の国で見たことはないので感動しました。

東京は日本の首都ですが空気はとてもきれいで木が多くて景色はとても美しいところも好きです。日本のゴミ分類もとても素晴らしいと思っています。分類するとリサイクルは便利になりました。とても環境にいいと思っています。

中国に帰ったら周囲の人々に日本の他人に対する優しい気持ちを伝えたいです。そして、ゴミ分類も続けようと思っています。

左から1番目

左

マドリード自治大学
アントニオ・グティエレス（スペイン）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科３年編入

はじめまして。

私はアントニオと申します。私の名前と父の名前は同じです。あだ名はトニオです。１１月１０日に２５歳になります。

私の国はスペインです。そして、グアダラハラから来ました。この町はマドリードの近くにあります。電車で一時間掛かられます。今小平市に住んでいます。１０月にスペインへ帰ります。家族はグアダラハラにいます。４人です。両親と兄が一人います。

私の趣味はブレークダンスをすることです。１０年まえにダンスを練習し始めました。日本でダンスの大会に参加したいです。

私のスペインの大学で日本学を勉強しています。『るろうに剣心』のアニメを見てから、日本文化を興味し始めました。侍は明治時代に刀を持って行くできませんでした。私は大変だったと思います。日本の歴史を勉強し始めました。私は日本語の中で漢字が一番難しいと思います。字幕無で映画やアニメを見ることできるようになりたいです。それから、日本語で話すことが上手になりたいです。そして、将来はスペイン語の先生になりたいです。

ザグレブ大学　シュローガル・テオ　（クロアチア）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科２年編入

　はじめまして、テオと申します、どうぞよろしくお願いいたします。ザグレブ大学で外国語を勉強しています。イタリア語とスロバキア語学科で卒業するところです。同時に日本語学科で二年生です。私の趣味について、まずいい本を読むのが大好きです、そしてクロアチアで古武道を修業しました。そのうえで、新しい外国語を習うのが本当に大好きです。だから専門だけじゃないけど、外国語を私の趣味にしました。色々な文化から来た人々を知り合いたいし、他の遠い国々に旅行したいし、たくさん外国語を習いたいと思います。
さまざまな理由からまず日本語を勉強したかった。実は、私の趣味は日本に接続されています。武道以外、瞑想と特に日本の伝統文化に大きな興味があるので、この言語を習いたかった。その他、日本語は非常にとても得意な言語だので、子供の時から大好きになりました。それに、多分ほとんどみんなヨーロッパの学生のように、私も村上春樹の本を読むのが大好きです。
　伝統文化や歴史が大好きだので、留学中是非に奈良と京都に行きたいです。そのうえ、自然も大好きだので、富士山を登りたいです。同じ理由から、北海道と琉球にも行きたいです。
　上記の理由以外、外国の勉強や旅行は自己発見と自己実現にとても役に立つと思います。だから、私の一年後の自分を想像してみれば、世界と自分をもっと深くて、はっきり理解できる人を見られると思います。

左

右

天津外国語大学　陳　氷月（中国）
言語文化専攻ビジネス日本語コース１年編入

　留学中はぜひ声優イベントを見に行きたいです。
子供の頃からアニメが大好きですから、アニメを通じて声優という職業の存在を知りました。声優が話す日本語は一音一音がはっきりしていて、感情豊かで、日本語はなんて綺麗な言葉なんだなって思いさせられました。
声優をきっかけに、日本語を勉強しようと決意しました。最初は日本語の塾を通って、あとは独学で勉強して、なんと日本語能力試験Ｎ１満点を取りました。声優愛恐るべしです。好きな声優はいっぱいいますが、今一番好きなのは前野智昭さんです。彼の低音は力強く、高い声は可愛く、歌もすごくうまくて、彼の声にすっかり魅了されました。
声優はアニメやゲームのアフレコだけでなく、洋画の吹き替え、歌、ラジオのパーソナリティなど、幅広い仕事をしています。ぜひ声優が出演するイベントに参加して、彼らの仕事ぶりを近くで見てみたいです。

右

天津外国語大学　劉　美月（中国）
日本文学専攻修士課程１年編入

日本に来る前に、日本の化粧品がいいとか、住みやすいところだというようなことを先生たちがいろいろ教えてくれた。成田空港から出て、バスに乗ってドミトリーに行く途中、東京の景色が好きになった。木がいっぱい、澄み切った青空は、気持ちをのびやかにしてくれた。が、日本の最もすばらしいことは、人のやさしさだと思う。何年間日本語を勉強したが、日本に来るのは初めてで、どこまで聞き取るのかに、それほど自信を持たなかった。着いた翌日、外国人登録に市役所に行った。手続きについて、関係者に分からないことを聞いた時、熱心に教えてくれたのに、話すのがはやすぎるせいか、あまり聞き取れなかった。分かるようにもっとゆっくり話していただけないかとお願いしたあと、分かるまでに何回も説明してくれた。そして、最後まで笑顔してくれた。それに恵まれて、分からない場合もう一回聞く勇気があるようになって、いま完全な日本語環境に慣れた。

一番左

一番右

天津外国語大学　何　燁（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科３年編入

天津外国語大学日本語学部三年生の何燁と申します。母校での専門はビジネス日本語です。留学の一年間、いろいろ体験してみたいと思います。まず、日本の大学での生活を体験することです。日本に来る前に、「日本の大学では中国と違ってゼミがあり、合宿もあり、部活も中国より多い」と先生、日本人の友達から聞いたことがあります。ですから、ぜひ体験してみたいと考えています。

次に、アルバイトをするつもりです。アルバイトを通して日本語のレベルを向上させ、親の経済負担を減らし、自分を磨きたいと思います。もちろん、勉強は一番大事なことだから、勉強を優先させるつもりです。

最後、学校での勉強を通して卒業論文の準備をします。BJTビジネス日本語能力、TOEFL、TOEICなどの資格を取るつもりです。将来帰国して日本語の先生になりたいので、ここで音声学、言語学などの授業を選びました。もしできれば日本の大学院に進学したいと願っています。

この一年間、時間を大事にして頑張ります。

華中師範大学　趙　佩佩（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科３年編入

一年間の交換留学ができたのは私にとってありがたいことだと思っています。いろいろあってから、一度こういうチャンスを逃したことがあるから、今度は格別に大切にします。
これほど日本に来たいのは日本語学科だけではなく、もっと重要なのはこの２０年の中国での生活はあまり親を遠く離れたことはありません。いつも自分は独立したい、独立したいって口にするだけです。このままじゃ、どうやってこの競争が激しい世の中で生存するのかはよくわからない。そして、親はいつも手に届けるところにいますから、自分ひとり思考や行動能力も低くなってしまって、他人に頼りたくなってきます。

この一年間の一人暮らしを通して、本当の独立な人間になることができます。せっかくだから、日本の文化を体験することも楽しみにしています。一年後、私でもたぶん日本有名な観光地を回るつもりです。日本人の考え方とか日本の伝統的な文化とか多少わかると思います。それに、一番楽しみなことはいっぱい日本人の友達を作ることです。この一年間、日本人の友達とご飯を食べたり、一緒に遊びに行ったりすると、きっとうれしいです。

一年後の私を楽しみにしています。

左から2番目

天津外国語大学　韓　淳伊（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科４年編入

子どもの時、アニメを通して日本という国を知っています。日本にといえば、いろんなアニメキャラクターが心に出てきます。だから、その時、日本が童話の世界のようなところと思っています。

大学で日本語学科を専門になった後で、日本の文化にも興味深くなりました。日本語の授業と日本文化に関する本から、ちょっと日本のことを知っています。

例えば、茶道、能楽、日本料理。一番好きなのは日本料理です。なるべく味付けを簡単にして、食材元々の味を維持します。自然に近いというような感じがあります。そして、日本文化を体験して、日本語を上手になるために、日本に留学しました。

そのほか、日本は経済大国で、社会も。日本人のきめ細かく慎重な態度と効率の良い仕事の仕方もを私が学ぶべきところだと思っています。留学の体験があれば、将来の仕事に価値があると思っています。

最後、武蔵野大学で留学している友達は武蔵野大学での留学生活が充実して楽しいと言っています。ですから、私もこの大学の協定生を志望しました。

一番左

左

大連外国語大学　尹　海波　（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科２年編入

日本へ来て間も無く二週間で、一番驚いたのは日本のサービスです.日本のサービス業は世界一だとよく耳にします.実際に確かめると本当に評判通りに素晴らしいと思います。

先日、友達と一緒に新宿へ洋服を買いに行きました.日本語が上手く話せない私たちに対して店員さんは優しくて説明してくれますし、似合う洋服も選んでくれました。そこで分かったのは日本のサービス業は笑顔は欠かせないというものです。

日本では、店に入ると店員さんは「いらっしゃいませ」と丁寧に挨拶します。それと同じように、バスに乗ってお金を入れた時、運転手さんは「ありがとうございます」と言ってくれます。忘れ物のある場合は、カウンターへ行くと係りの人は真剣に扱ってくれます。そういう細かいところで日本人の優しい気持ちがよく感じられます。それは、初めて日本へ来た私に強く印象を残っています。

日本のサービス精神は私の心を捉えました。その精神を中国にも伝えようと思います。

左

培材大学校　ムン・ション　（韓国）
日本文学文化学科３年編入

初めて日本と日本語に興味を持ったきっかけはお祖母さんのおかげでした。私が高校生の時お祖母さんは日本で働いていました。そして、お祖母さんから日本での留学を誘われました。それで、高校を卒業した後、一応は見学のために日本へ行きました。その時、家族みんなで温泉旅行に行ったり、一人で買い物に行ったりしましたが、どこへ行っても日本の人はみんな優しかったんです。そして、日本のファッションとかいろいろな文化もよくて興味を持つようになりました。それで、韓国に戻って来たら、今度は留学に行きたいと思いました。それから、留学の準備をするようになりました。そして、２０１１年、日本に留学に来ました。KCPという語学校に通いながら楽しい時間を過ごしていました。しかし、２０１１年３月、大地震が起きました。そのため残念ながら韓国に帰るようになりました。その後、韓国の会社で働きましたが、勉強が諦められませんでした。それで、１年間、会社が終わったら大学に入るために勉強をしました。

そして、２０１３年、培材大学へ入学しました。培材大学の日本学科で２年間真面目に勉強しましたが、同時にもう一度日本へ留学に行きたいと思うようになりました。それで、学校の先生と家族と相談した後、日本への留学を決めました。そして、２０１５年の今、私は日本にいます。日本での大学生活が本当に楽しみです。これからの１年間日本のあっちこっちに行ったり、一生懸命に勉強したりして後悔のない、本当に楽しい時間を過ごしたいです。

一番右

華中師範大学　李　欣雨（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科３年編入

華中師範大学日本語学科大学生三年生、李欣雨と申します。江西省南昌市の出身で、今年二十歳です。この二年間、武漢にある華中師範大学で楽しく過ごしてまいりました。

私は南昌市外国語学校を卒業しました。そのとき、私は日本語と中国語が似ていることを感じました。そして勉強しやすいと思いました。だから華中師範大学日本語学科選びました。大学に入って以来二年になります、私はいつも一生懸命日本語を勉強しています、毎年期末試験の成績は優秀です。大学の二年間で、日本語はだんだん上手になります。日本語を勉強しているうちに、日本の文化も徐々にわかるようになりました。留学することは、勉強だけでなく、日本文化を学んだり日本語で交流することにつながります。今回日本に留学することを契機として、日本の各方面のことをもっと知りたいです。今私は日本語学科の学生としては、日本語でしゃべる機会が少ないです。日本に留学して、会話の能力を高めたいと思います。

私は自分が楽観的だと思います。楽観的な性格だからこそ、どんな困難にあっても、必ず解決する自信を持っています。そして、私はスポーツが大好きです。バドミントンが一番上手です。実は、私はいつも両親の関心があって、のんきな生活を過ごしています。とはいえ今私は二十歳になったからには、覚悟を決めて一人暮らしの生活になれてきています。自立することに自信を持っています。日本に留学生活も大丈夫だと思います。

留学を決める前に、私は貴大学のことを詳しくしらべました。貴大学は高い研究能力を持って人材の育成を目指しているとあらためて感じました。私にとっては良い勉強場所だと思います。

武蔵野大学の先生方のご指導をお願いいたします。

天津外国語大学　劉　燁（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科４年編入

平成27年3月31日、私は北京首都国際空港で日本への飛行機に乗った。前の日、一夜も寝ていなかったので、ほとんど離陸した瞬間、寝てしまった。うとうとしている間、「すいません」やさしいこえに呼ばれた。フライトアテンダントは素敵な日本料理を手配してくれた。疲れはまったくなくなった。ついに、窓から見ると、青い海と白い山の見たいものは目に入った。「さすが島国だよ！」と思った。

しばらく、成田空港に着いた。入国手続きをしていたとき、職員は中国語を言っていた。本当にびっくりしちゃった！日本の空港はきれいだけではなく、サービスも大好評にあたえている。
正直と言うと、日本に来る前に、知っていた日本はすべてマスコミから分かる日本で、本当の日本ではない。日本に来るに至って、そんなにきれいな国だと分かるようになった。秒速5センチメートルの桜、やさしい先生と日本人のクラスメート、きれいな街、伝説中のトイレシート、最高のサービス、私の想像した忙しい日本と全然違うんだ！本当に嬉しかった！

ちなみに、ここで、私も日本人に「中国へいらっしゃいませ」という大歓迎をしたいよ！

左から2番目

手前

中国人民大学　　孫　茂霞（中国）
仏教学専攻博士後期課程２年編入

私が日本へ来てから、一ヶ月になったが、日本の生活にもなれてきた。しかし、どうして礼儀正しいことで有名な日本人が麺をすすって食べるか、まだよく理解できない。

この問題について、私はさまざまな調査を基づく、次の考えをまとめておく。日本の食事マナーには仏教修行の影響を受けている部分が多い。寺院の修行道場での食事（仏教では「じきじ」と読みます）は、朝の粥飯（しゅくじき：粥を食べる）と昼の飯食（ぼんじき：米などの飯<めし>を食べる）の２回の食事を正式としている。ただし体力を使う修行期間であれば、夕刻には薬食（やくじき）といい、体の調子を整える薬として日中の残り物や麺を食べることも認められている。

特に禅宗の修行道場では「うどん供養」と称し、うどんはお代わり自由で、またすする音を立てることも許容されている。そもそも仏教では食事（じきじ）は修行の一つであり、食堂（じきどう）では私語はもちろん、食器や漬物の音を立てることすら禁じられている。そんな生活を送る中で、（仏教的な意味で）正式な食事ではないうどんを食べるときは、普段の緊張感から解放される時間なので、すする音を立てることが許されるの可能性がある。そのような背景から日本では麺をすする音に関しては、黙認されていると思う。

中国などには音を立てて食べるのが重大なマナー違反であるが、日本人にとして、これは昔から続く重要な文化の一つと思う。

BBQ・スイカ割り

ウェルカムパーティー

天津外国語大学　応　静静（中国）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科４年編入

日本に来たのはもう10日になって、時間の経つのが早いね。何回もスーパーやコンビニや百円店に行って生活用品が揃ってきたことをと共に、だんだん“確かに日本にいっていますね”という実感を持ってきた。新鮮感と好奇感がだんだん薄れてきたけれど、じっくり思うと、日本に来たばかりはびっくりと感じさせることがいっぱいある。

まずは綺麗な桜。日本に到着した日、天気が非常に良かったから、空港から寮に行った途中、ずっと窓を通して外の風景を眺めていた。満開な桜が青空白雲に映って、言葉で言えない美感があると思った。そんな素晴らしい風景を見て、疲れもなくなって気持ちもよくなってきた。また、日本の環境が確かに良く、空気も道もきれいね。

それに、日本の交通と運転。最初から日本の運転席が右側であることを気づいて、中国と違いますね～また、日本の歩行者優先という運転ルールがとても良いと思う。そのほか、日本のタクシー運転手が全部シャツとジャケットを着ることにびっくりしたけれど、確かにそのよう服装が元気満々という感じがある。

真ん中

最後は、ゴミの分けと出し方。最初に入寮した時、ゴミの出し方という資料を配られたけど、当時手続きとか荷物とか忙しかったから、じっくり読む時間がなかった。

短い時間だから、日本に対して理解がまだ非常に充分ではない。これから日本にいる一年間、もっと日本の社会とか文化とか勉強したいと思っている。